

総務建設産業委員会

〔所管〕総務・まちづくり・税務・都市整備・地域振興・上下水道に属する事項／その他の委員会に属しない事項



総務建設産業委員会は、今回の改選により、新人2人を含めた6人のメンバーで新たな体制でスタートしました。町政を進めるうえで、町から提案された案件や、議員の提案などを審議して議決により決定することは、議会に与えられた仕事の最も重要な機能です。

委員会では、議会から付託された議案を関係各課の説明を聞き、審議・審査していきます。

須恵町では、れいんぼー幼児園の新設、アザレア幼児園建設計画など、子ども政策は進んでいます。公共下水道等のインフラ整備はまだまだです。財政を考慮しながら速やかに進めなければなりません。町民皆さまの期待に応えられるよう頑張っていきます。

委員長 松山 力弥

※ぎょさい 魚滓処理の今後は？

平成27年7月7日（火）福岡市水産加工センターを視察



福岡市水産加工センター
(福岡市東区)

福岡市水産加工センターは、須恵町を含む24市町地区の鮮魚店等で発生する魚滓を原料とし、魚粉・ソリブル（タンパク濃縮液）・魚油を製造する施設です。

専門の指定集荷業者が、専用運搬車両で集荷し、原則24時間365日受け入れを行っています。指定集荷業者に対しては、できるだけ新鮮な魚滓を搬入するよう指導が行われています。

また、原料貯留タンクには冷却装置が設けられ、年間を通じて品質を保っています。

施設を運営する福岡市水産加工公社は、昭和49年5月に設立され、現施設は、昭和56年から操業しています。しかし、加工品や輸入品の増加等による魚滓搬入量の減少や、悪臭対策費の支出増などから、経営改善が見込めず、平成31年度末で解散される方針です。

今後、民間へ移行することとなり、その具体的な手法等について検討されています。

（報告者 田原重美委員）



説明を受ける委員

※魚滓・・・魚の頭や骨、内臓などの食べられなかった部分

ごみ分別の大切さ

平成27年7月7日（火）須恵町外二ヶ町清掃施設組合を視察



クリーンパークわかすぎ
(篠栗町)

の中に、砲丸やハンマーなどが混入し、破碎機が損傷を受けて多額の補修費が必要になるケースがあるそうです。

各家庭で、きちんと分別のルールを守り、乾燥の燃料費削減のため、できるだけごみの水分を切って出すなど、普段からの心がけが大切だと感じました。

（報告者 世利孝志委員）

可燃ごみは、破碎・乾燥・選別・成形し、固形燃料（RDF）として再生しています。不燃ごみ、缶・ビン、ペットボトルは、分別し、再資源としてリサイクル処理しています。

平成27年2月から順次、可燃ごみを乾燥する際に使用する燃料を、灯油から液化天然ガスに転換したことで、燃料費が年間3千万円ほど削減される見込みです。また、温室効果ガスも削減され、CO₂削減にもつながります。

家庭から出される可燃ごみ



液化天然ガスのタンク



可燃ごみに混入していた砲丸やハンマー等



欠けた破碎機の刃（手前）



圧縮されたアルミ缶

消防団激励

平成27年6月22日（月）



消防団を激励する委員（健康広場）

当委員会で恒例となった消防団法大会に向けた練習の激励に行きました。大会2週間前でしたが、スムーズな操作が行われていました。

今年は町大会のみですが、2年に1回開催される全国大会は、自動車ポンプの部と小型ポンプの部が交互にあるため、それぞれは、4年に一度のチャンスになっています。来年は、小型ポンプの部が対象です。めざせ全国。

（報告者 合屋伸好委員）